

— 当直業務を頑張るすべての子育て中の医師対象 —

# 当直中の育児支援 行います!

当直業務を行うために医師が保育サポーターへ支払った、報酬および実費(交通費・食費等)を補助することで  
医師の経済的負担感を軽減し、子育て中も変わらず意欲的に仕事に取り組める体制を整えます!

支援を受ける場合は、「長崎医師保育サポートシステム」への登録が必須です!

※登録料は別途で、補助対象外

## 対象

- ✓ 長崎大学病院に勤務している子育て中の医師  
※男女ともに可能  
※パートナーが主婦・主夫でも可能

## 支援期間

2020年度～2024年度までの5年間

## 支援条件

- ✓ 医師が、当直(日直・宿直)を  
現況からステップアップして再開  
例①: 当直無しの状況から日直・宿直に入る  
例②: 日直のみの状況から宿直に入る
- ✓ 医師が、当直を継続  
例①: 当直回数を増やす  
例②: 当直回数の維持
- ✓ 当直の日の子どもの保育や家事は  
「長崎医師保育サポートシステム」を利用

## 補助内容と補助額

- ✓ 医師が支払った、保育サポーターへの  
報酬および実費(交通費・食費等)を補助
- ✓ 子ども1人につき上限1万円/年  
※子ども2人以上の場合は、1人につき5千円を加算。  
※各年度予定していた予算を全額執行した時点で、  
申請の受付を終了。

## 申請方法

まずは、センターへお問い合わせください。

メディカル・  
ワークライフバランスセンター 内線: 7979

詳細や必要書類、手続き等のご説明をいたします。  
お気軽にお問い合わせください。

家族と保育サポーターが  
子育てを共有して、  
ステップアップ!



## 支援を利用することのメリット

### まずは休日の日直から再開

(2020年度に利用した女性医師の感想)

現在子育て中であり日当直は免除してもらっています。まずは休日の日直から再開してみようと思いましたが、「長崎医師保育サポートシステム」を利用し、子ども達も保育サポーターさんにはすっかり懐いていますので、休日も安心してサポートをお願いできました。休日の日直の場合、わりと自分の時間も確保できるので、普段は平日の診療業務の合間に少しずつしかできない大学院の研究も集中して進めることができました。

### 不安な面は、とにかく経験でカバー

(数年ぶりに他院で夜当直を再開した女性医師)

当直の再開は、拘束時間が長くなり、体力的にもきついです。ただ、個人的には仕事が好きですし、キャリアを積める充実感もあって、やりがいを感じています。特に輪番当直は研修医以来、初めてだったので不安いっぱいでしたが、色々と大変な場面も乗り越えながら、少しずつ経験を積み重ねています。

お問い合わせ先

メディカル・ワークライフバランスセンター

内線:

7979



あじさいプロジェクト  
NAGASAKI AJISAI PROJECT